

観望の劇・6月号

平成29年5月29日発行
発行 龍ヶ崎市回想法センター
龍ヶ崎市平台5-9-7
電話・FAX 0297-65-4443
Email pia-kaiso@etude.ocn.ne.jp
h p www.piakaiso.sakura.ne.jp

田んぼに緑が戻りました

物事を見る目を養いたい

私たちは、正確に物の大きさを知っているから、テレビを見ても小さい、大きいの判断が出来ます。しかし、テレビカメラはものの像をズームで好きな大きさに調節して伝えます。好きに調整して伝えることで正しく伝わらないこともあります。

高齢者の危険運転が問題になっていますが、高齢者よりも、若い世代の方が危険運転は多く発生しています。しかし、危険運転をする高齢者ばかりが報道され高齢者やその家族等に不安を与えています。

精神障害者が事件を起こすと「危ない・危険だ・隔離せよ」と報道されます。国の統計では犯罪率は精神障害者よりも障害のない人の方が多く発生しています。そこには、人の存在が大きくなりすぎているのかなと思うこともあります。

正しく物事をみる感覚があれば、物事を正しい大きさで見ることが出来ます。惑わされることのないようにしっかりと物事を見極める目を持って楽しく暮らしてゆきたいものです。

辛いときには辛いと言って

横綱稀勢の里の休場の知らせにホッとした方も多くいたことかと思えます。先場所中に怪我をしましたが、それでも休むことなく土俵に上り続け優勝をしました。その傷が癒えないまま5月場所を迎えましたが、見ている方もハラハラドキドキの相撲を見て心配していました。龍ヶ崎市恒例の稀勢の里応援バスツアーの日、11日目から休場になりました。周囲の期待や横綱の責任等休むことへの様々な思いがあり休むと言えずに土俵に上がったのかな？と。

怪我が長引かないか気になりますが、ここは怪我を治すことに専念して、また元気な土俵を見せてくれることを祈るばかりです。

介護もそうですが、私が（俺が）と、ついつい一人で何もかも背負い疲労困憊するまで頑張っ続け体調を崩される方がいます。辛いときは辛いと言える、言う勇気も介護には大事（必要）なことです。我慢せずに早めにSOSのサインをだし、体調を崩すことのないように、介護サービスを上手に使っていただきたいとおもいます。

開催場所 ショッピングセンターリブラ 1階

認知症家族会・あおぞら	6月 2日 (金)	10時30分~12時
うたごえ広場	6月 8日 (木)	2時~4時
笑顔屋	6月14日 (水)	10時30分~2時
川柳カフェ	6月17日 (土)	10時30分~12時
笑顔屋	6月20日 (火)	10時30分~12時
らんカフェ	6月25日 (日)	10時30分~12時
笑顔屋	6月26日 (月)	10時30分~12時

問い合わせ先 龍ヶ崎市回想法センター080-4209-5708